

2017 年度後期
「授業改善のための学生アンケート」 結果報告書

白百合女子大学

目 次

1. 2017 年度後期「授業改善のための学生アンケート」 実施目的・概要	
① 目的	1
② 実施概要	1
③ 実施方法	1
④ 設定項目	2
⑤ アンケート用紙	3
⑥ 実施科目数	3
2. 2017 年度後期「授業改善のための学生アンケート」 集計結果	
① 学部	4
② 大学院	9
3. 2017 年度後期「授業改善のための学生アンケート」 みなさんの声に応えて	
① 学部科目 授業担当教員からのメッセージ	14
② FD推進委員会からのメッセージ	26
4. 2017 年度後期「授業改善のための学生アンケート」 顕彰授業	
① 顕彰授業	27
② 顕彰授業における工夫	27

1. 2017 年度後期「授業改善のための学生アンケート」 実施目的・概要

① 目的

- 1) さまざまな角度から学生の反応・実態を知ること、個々の授業の授業内容・教授方法等を、教員自身が見直し改善するための材料を提供する。あくまで教員の自発的な取り組みを助けるものであり、いかなる形においても、教員の評価・査定の資料とするものではない。
- 2) 設備や機材、資料など、学習に適した環境を大学がどの程度提供できているかを測定し、これを改善していくための材料を得る。
- 3) 学生が学びたい内容を適切なレベルできちんと教授できているかを知り、大学全体、あるいは学科や学年ごとのカリキュラム内容を、必要に応じて改善していくための材料を得る。
- 4) 科目に対する学生の意欲や、授業時間外での学習の実態を把握することで、カリキュラムが想定している努力を学生が傾けているかを測定し、必要に応じて改善の方法を探るための材料を得る。
- 5) 学生に対して、自らの学習のあり方を見直し、大学での学習をより実りあるものとするための材料を提供する。

② 実施概要

実施期間：2018年1月11日（木）～1月31日（水）

実施対象：原則としてすべての通年・後期科目

※ただし、履修人数が5名以下の授業や、授業形態から考えて調査実施が困難な授業などについては、担当教員の申出により、調査対象科目から除外する。

調査方式：無記名式マークシート、自由記述欄あり（p.3 参照）

※学部・大学院統一フォーム

調査所要時間：約 15 分

③ 実施方法

- 1) 授業開始前に、授業担当教員は教務課でアンケート用紙の入った封筒を受け取る。
- 2) 授業終了の15分前を目安に、履修学生にアンケート用紙を配布する。
- 3) 任意で設定できる質問項目欄を使用する場合、あらかじめ用意してきた「学生に答えてほしい質問内容」を、口頭あるいは板書で学生に周知する。
- 4) 授業担当教員は、学生に対し実施目的をよく読み、回答を行うように指示する。
- 5) 学生がアンケートを記入している間は、授業担当教員は机間巡視等、必要以上に教室内を移動することで学生の記入の妨げにならないよう注意する。

- 6) 授業担当教員は、受講人数に応じた数の回収担当学生を指名し、終了時刻と同時にアンケート用紙を回収させ、所定の袋に入れ封をするよう指示をする。
- 7) 授業終了後、授業担当教員または回収担当学生は教務課にアンケート用紙を回収した厳封済みの袋を提出する。

④ 設問項目

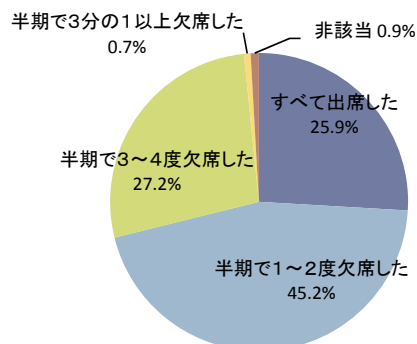
- Q1 この授業にどの程度出席しましたか。
- Q2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。
- Q3 この授業に主体的に取り組むことができましたと思いますか。
- Q4 この授業の内容を十分に習得できたと思いますか。
- Q5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。
- Q5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)
- Q6 教員の話は聞き取りやすかったですか。
- Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- Q8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。
- Q9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。
- Q10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。
- Q11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。
- Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。
- Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか。
- Q14 この授業の進度は適切でしたか。
- Q15 この授業の難易度は適切でしたか。
- Q16 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。
- Q17 教室の設備は適切でしたか。
- Q18 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。
- Q19 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。
- Q20 この授業について、良かった点、改善してほしい点などを自由に記述してください。
- Q21 この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していることなどを、自由に記述してください。
- Q22 (教員より指示があった場合のみ記述してください)
- Q23① この授業を評価するにあたって、このアンケートの質問項目は十分かつ適切だと思いますか。

2. 2017年度後期「授業改善のための学生アンケート」の集計結果

① 学部

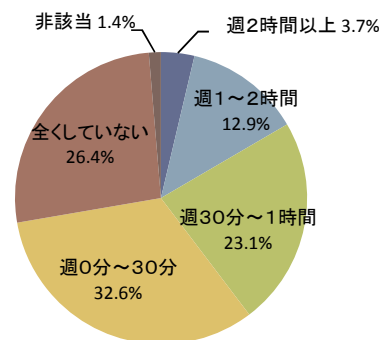
Q 1 この授業にどの程度出席しましたか。

No.	Category	度数	%
1	すべて出席した	4,384	25.9%
2	半期で1～2度欠席した	7,655	45.2%
3	半期で3～4度欠席した	4,609	27.2%
4	半期で3分の1以上欠席した	119	0.7%
5	非該当	154	0.9%
	合計	16,921	



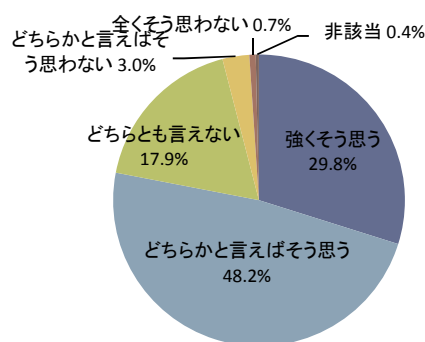
Q 2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。

No.	Category	度数	%
1	週2時間以上	625	3.7%
2	週1～2時間	2,179	12.9%
3	週30分～1時間	3,912	23.1%
4	週0分～30分	5,515	32.6%
5	全くしていない	4,460	26.4%
6	非該当	230	1.4%
	合計	16,921	



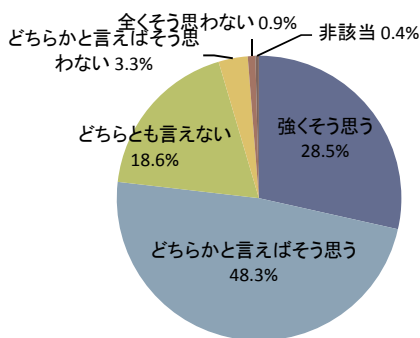
Q 3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	5,050	29.8%
2	どちらかと言えばそう思う	8,154	48.2%
3	どちらとも言えない	3,030	17.9%
4	どちらかと言えばそう思わない	506	3.0%
5	全くそう思わない	119	0.7%
6	非該当	62	0.4%
	合計	16,921	



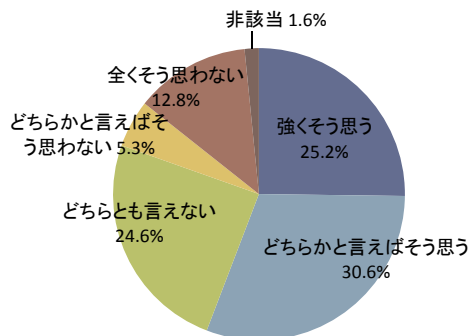
Q 4 この授業の内容を十分に習得できたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	4,823	28.5%
2	どちらかと言えばそう思う	8,177	48.3%
3	どちらとも言えない	3,143	18.6%
4	どちらかと言えばそう思わない	561	3.3%
5	全くそう思わない	146	0.9%
6	非該当	71	0.4%
	合計	16,921	



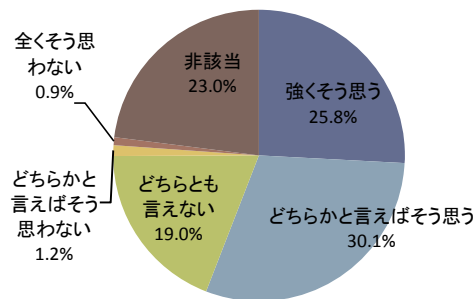
Q 5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	4,265	25.2%
2	どちらかと言えばそう思う	5,181	30.6%
3	どちらとも言えない	4,160	24.6%
4	どちらかと言えばそう思わない	889	5.3%
5	全くそう思わない	2,160	12.8%
6	非該当	266	1.6%
	合計	16,921	



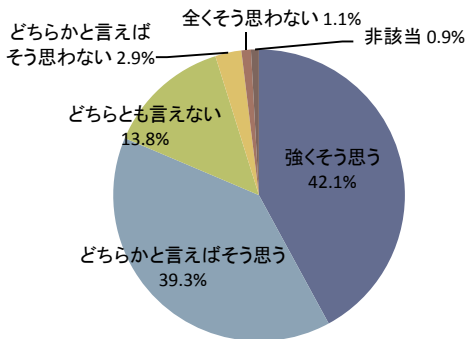
Q 5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	4,370	25.8%
2	どちらかと言えばそう思う	5,092	30.1%
3	どちらとも言えない	3,221	19.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	200	1.2%
5	全くそう思わない	145	0.9%
6	非該当	3,893	23.0%
	合計	16,921	



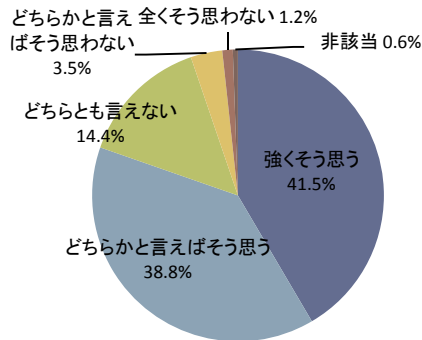
Q 6 教員の話は聞き取りやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	7,121	42.1%
2	どちらかと言えばそう思う	6,649	39.3%
3	どちらとも言えない	2,329	13.8%
4	どちらかと言えばそう思わない	494	2.9%
5	全くそう思わない	180	1.1%
6	非該当	148	0.9%
	合計	16,921	



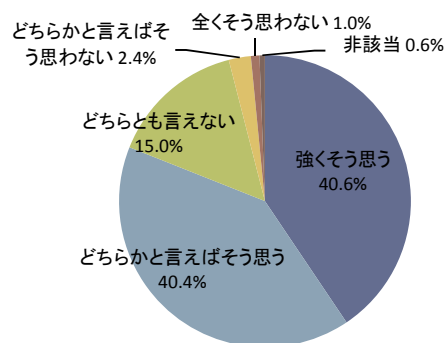
Q 7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	7,030	41.5%
2	どちらかと言えばそう思う	6,563	38.8%
3	どちらとも言えない	2,444	14.4%
4	どちらかと言えばそう思わない	591	3.5%
5	全くそう思わない	196	1.2%
6	非該当	97	0.6%
	合計	16,921	



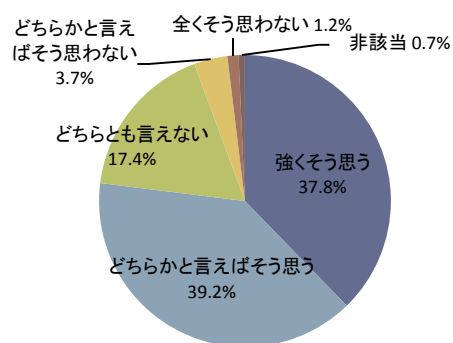
Q 8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	6,869	40.6%
2	どちらかと言えばそう思う	6,842	40.4%
3	どちらとも言えない	2,534	15.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	414	2.4%
5	全くそう思わない	161	1.0%
6	非該当	101	0.6%
	合計	16,921	



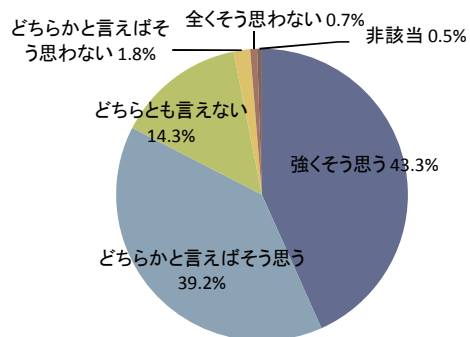
Q 9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	6,388	37.8%
2	どちらかと言えばそう思う	6,636	39.2%
3	どちらとも言えない	2,940	17.4%
4	どちらかと言えばそう思わない	630	3.7%
5	全くそう思わない	207	1.2%
6	非該当	120	0.7%
	合計	16,921	



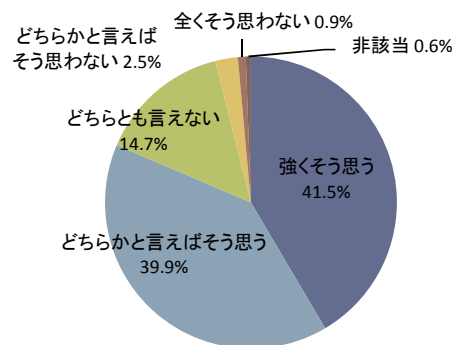
Q 10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	7,334	43.3%
2	どちらかと言えばそう思う	6,641	39.2%
3	どちらとも言えない	2,414	14.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	313	1.8%
5	全くそう思わない	126	0.7%
6	非該当	93	0.5%
	合計	16,921	



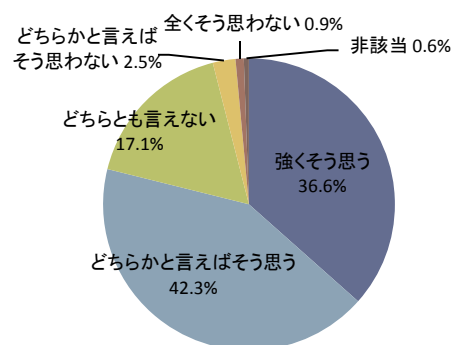
Q 11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	7,024	41.5%
2	どちらかと言えばそう思う	6,754	39.9%
3	どちらとも言えない	2,480	14.7%
4	どちらかと言えばそう思わない	418	2.5%
5	全くそう思わない	149	0.9%
6	非該当	96	0.6%
	合計	16,921	



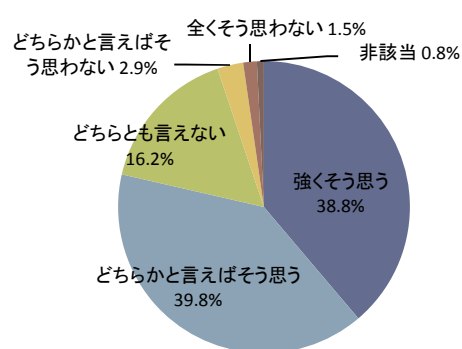
Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	6,187	36.6%
2	どちらかと言えば思う	7,159	42.3%
3	どちらとも言えない	2,897	17.1%
4	どちらかと言えばそう思わない	424	2.5%
5	全くそう思わない	157	0.9%
6	非該当	97	0.6%
	合計	16,921	



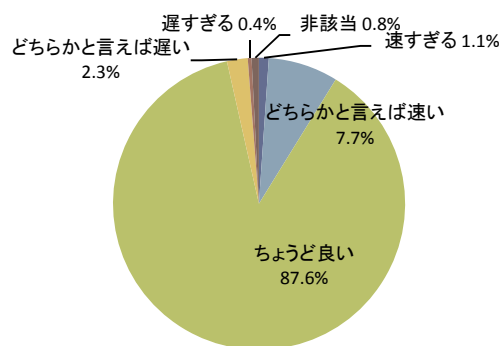
Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	6,568	38.8%
2	どちらかと言えば思う	6,733	39.8%
3	どちらとも言えない	2,743	16.2%
4	どちらかと言えばそう思わない	488	2.9%
5	全くそう思わない	256	1.5%
6	非該当	133	0.8%
	合計	16,921	



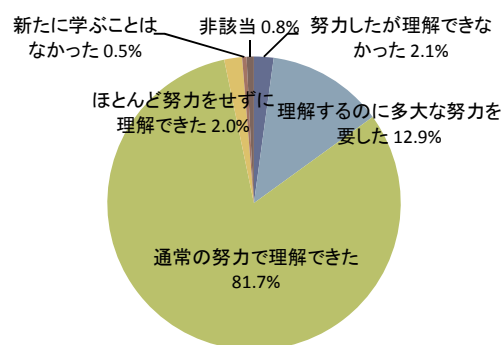
Q14 この授業の進度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	速すぎる	183	1.1%
2	どちらかと言えば速い	1,309	7.7%
3	ちょうど良い	14,830	87.6%
4	どちらかと言えば遅い	391	2.3%
5	遅すぎる	69	0.4%
6	非該当	139	0.8%
	合計	16,921	



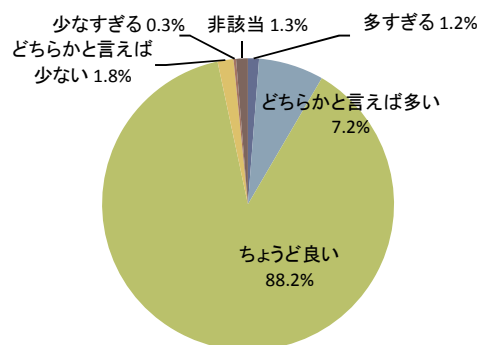
Q15 この授業の難易度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	努力したが理解できなかった	360	2.1%
2	理解するのに多大な努力を要した	2,179	12.9%
3	通常の努力で理解できた	13,831	81.7%
4	ほとんど努力をせずに理解できた	333	2.0%
5	新たに学ぶことはなかった	78	0.5%
6	非該当	140	0.8%
	合計	16,921	



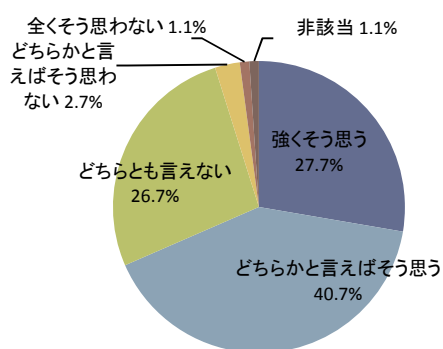
Q16 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	多すぎる	207	1.2%
2	どちらかと言えば多い	1,220	7.2%
3	ちょうど良い	14,924	88.2%
4	どちらかと言えば少ない	300	1.8%
5	少なすぎる	47	0.3%
6	非該当	223	1.3%
	合計	16,921	



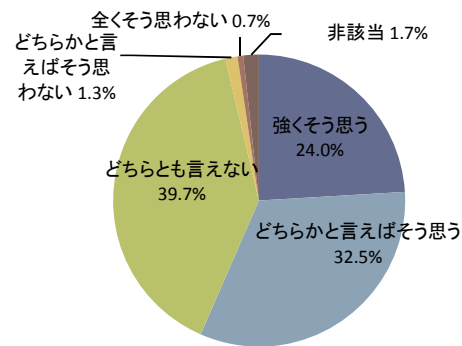
Q17 教室の設備は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	4,689	27.7%
2	どちらかと言えばそう思う	6,894	40.7%
3	どちらとも言えない	4,516	26.7%
4	どちらかと言えばそう思わない	462	2.7%
5	全くそう思わない	181	1.1%
6	非該当	179	1.1%
	合計	16,921	



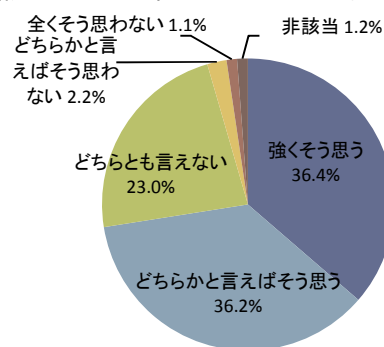
Q18 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	4,068	24.0%
2	どちらかと言えばそう思う	5,502	32.5%
3	どちらとも言えない	6,725	39.7%
4	どちらかと言えばそう思わない	224	1.3%
5	全くそう思わない	110	0.7%
6	非該当	292	1.7%
	合計	16,921	



Q19 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。

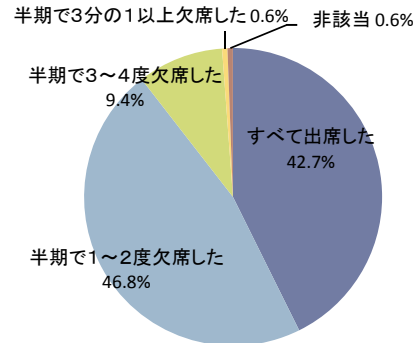
No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	6,152	36.4%
2	どちらかと言えばそう思う	6,120	36.2%
3	どちらとも言えない	3,885	23.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	367	2.2%
5	全くそう思わない	193	1.1%
6	非該当	204	1.2%
	合計	16,921	



② 大学院

Q1 この授業にどの程度出席しましたか。

No.	Category	度数	%
1	すべて出席した	73	42.7%
2	半期で1～2度欠席した	80	46.8%
3	半期で3～4度欠席した	16	9.4%
4	半期で3分の1以上欠席した	1	0.6%
5	非該当	1	0.6%
	合計	171	



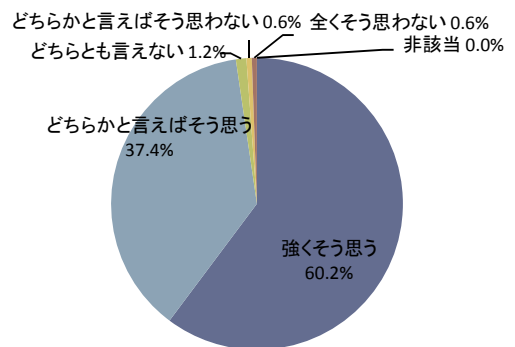
Q2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。

No.	Category	度数	%
1	週2時間以上	0	
2	週1～2時間	0	
3	週30分～1時間	0	
4	週0分～30分	0	
5	全くしていない	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

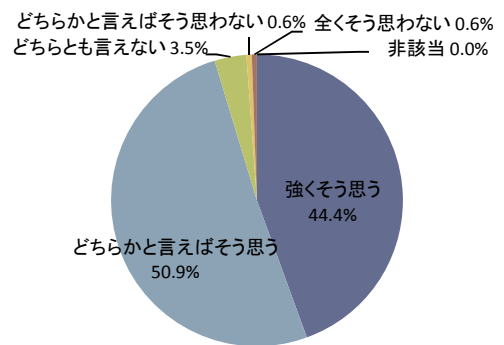
Q3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	103	60.2%
2	どちらかと言えばそう思う	64	37.4%
3	どちらとも言えない	2	1.2%
4	どちらかと言えばそう思わない	1	0.6%
5	全くそう思わない	1	0.6%
6	非該当	0	0.0%
	合計	171	



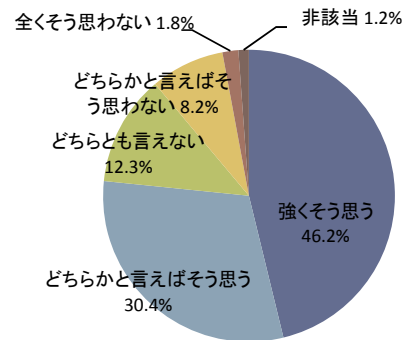
Q4 この授業の内容を十分に習得できたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	76	44.4%
2	どちらかと言えばそう思う	87	50.9%
3	どちらとも言えない	6	3.5%
4	どちらかと言えばそう思わない	1	0.6%
5	全くそう思わない	1	0.6%
6	非該当	0	0.0%
	合計	171	



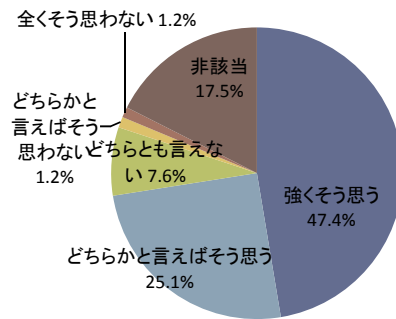
Q 5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	79	46.2%
2	どちらかと言えばそう思う	52	30.4%
3	どちらとも言えない	21	12.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	14	8.2%
5	全くそう思わない	3	1.8%
6	非該当	2	1.2%
	合計	171	



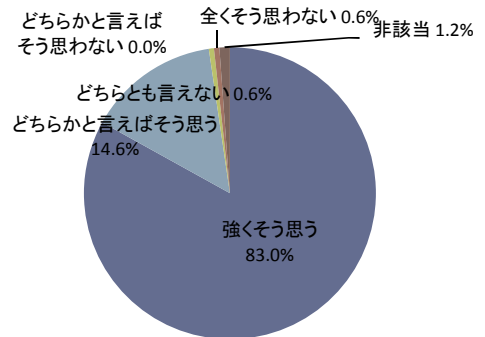
Q 5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	81	47.4%
2	どちらかと言えばそう思う	43	25.1%
3	どちらとも言えない	13	7.6%
4	どちらかと言えばそう思わない	2	1.2%
5	全くそう思わない	2	1.2%
6	非該当	30	17.5%
	合計	171	



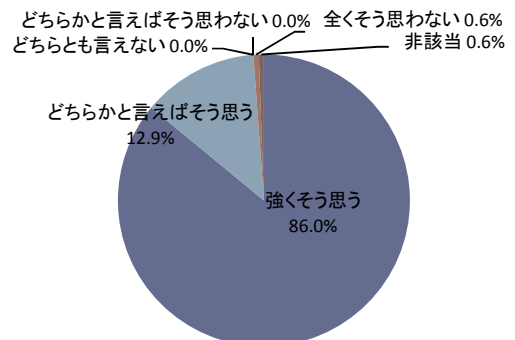
Q 6 教員の話は聞き取りやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	142	83.0%
2	どちらかと言えばそう思う	25	14.6%
3	どちらとも言えない	1	0.6%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	1	0.6%
6	非該当	2	1.2%
	合計	171	



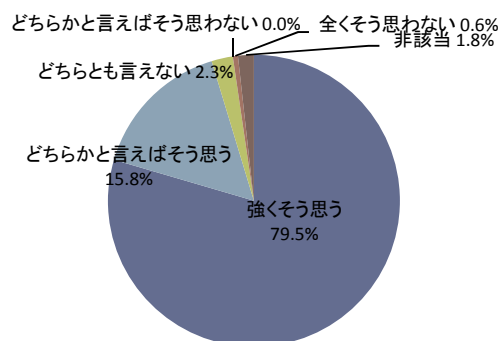
Q 7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	147	86.0%
2	どちらかと言えばそう思う	22	12.9%
3	どちらとも言えない	0	0.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	1	0.6%
6	非該当	1	0.6%
	合計	171	



Q 8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	136	79.5%
2	どちらかと言えば思う	27	15.8%
3	どちらとも言えない	4	2.3%
4	どちらかと言えば思わない	0	0.0%
5	全く思わない	1	0.6%
6	非該当	3	1.8%
	合計	171	



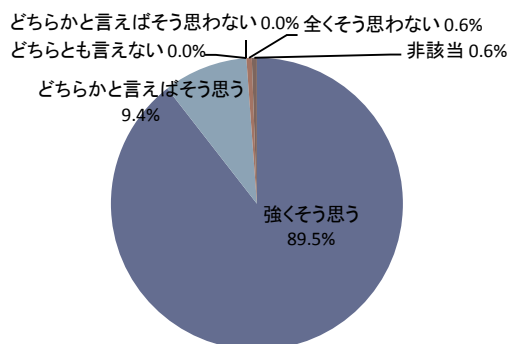
Q 9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	0	
2	どちらかと言えば思う	0	
3	どちらとも言えない	0	
4	どちらかと言えば思わない	0	
5	全く思わない	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

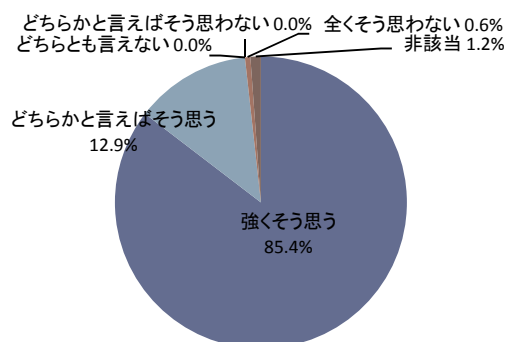
Q 10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	153	89.5%
2	どちらかと言えば思う	16	9.4%
3	どちらとも言えない	0	0.0%
4	どちらかと言えば思わない	0	0.0%
5	全く思わない	1	0.6%
6	非該当	1	0.6%
	合計	171	



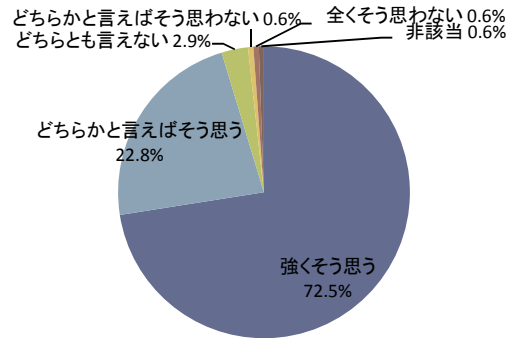
Q 11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	146	85.4%
2	どちらかと言えば思う	22	12.9%
3	どちらとも言えない	0	0.0%
4	どちらかと言えば思わない	0	0.0%
5	全く思わない	1	0.6%
6	非該当	2	1.2%
	合計	171	



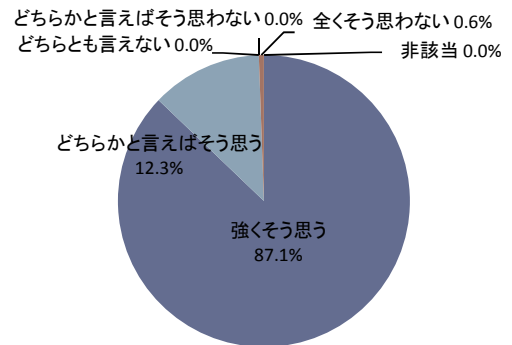
Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	124	72.5%
2	どちらかと言えば思う	39	22.8%
3	どちらとも言えない	5	2.9%
4	どちらかと言えばそう思わない	1	0.6%
5	全くそう思わない	1	0.6%
6	非該当	1	0.6%
	合計	171	



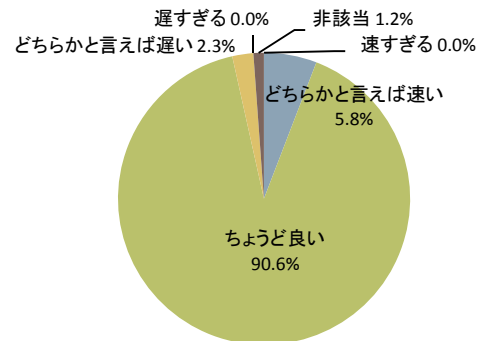
Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	149	87.1%
2	どちらかと言えば思う	21	12.3%
3	どちらとも言えない	0	0.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	1	0.6%
6	非該当	0	0.0%
	合計	171	



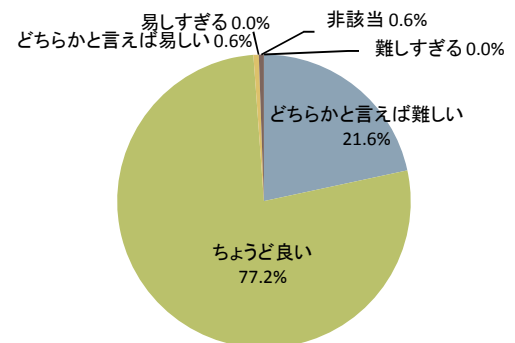
Q14 この授業の進度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	速すぎる	0	0.0%
2	どちらかと言えば速い	10	5.8%
3	ちょうど良い	155	90.6%
4	どちらかと言えば遅い	4	2.3%
5	遅すぎる	0	0.0%
6	非該当	2	1.2%
	合計	171	



Q15 この授業の難易度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	難しすぎる	0	0.0%
2	どちらかと言えば難しい	37	21.6%
3	ちょうど良い	132	77.2%
4	どちらかと言えば易しい	1	0.6%
5	易しすぎる	0	0.0%
6	非該当	1	0.6%
	合計	171	



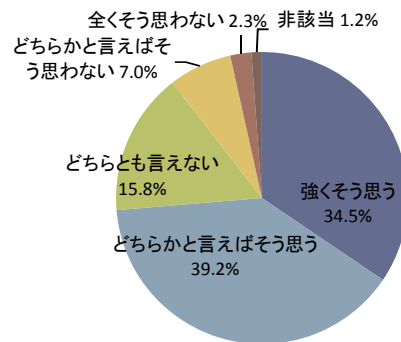
Q16 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	多すぎる	0	
2	どちらかと言えば多い	0	
3	ちょうど良い	0	
4	どちらかと言えば少ない	0	
5	少なすぎる	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

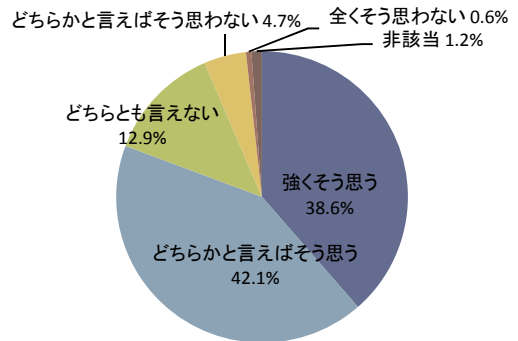
Q17 教室の設備は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	59	34.5%
2	どちらかと言えばそう思う	67	39.2%
3	どちらとも言えない	27	15.8%
4	どちらかと言えばそう思わない	12	7.0%
5	全くそう思わない	4	2.3%
6	非該当	2	1.2%
	合計	171	



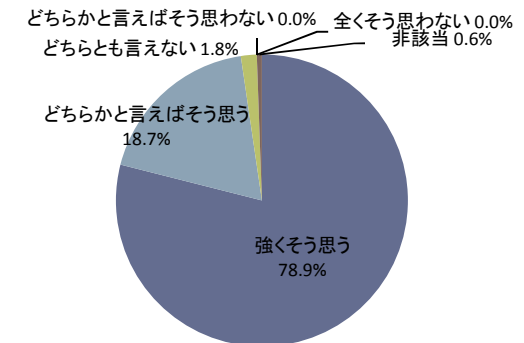
Q18 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	66	38.6%
2	どちらかと言えばそう思う	72	42.1%
3	どちらとも言えない	22	12.9%
4	どちらかと言えばそう思わない	8	4.7%
5	全くそう思わない	1	0.6%
6	非該当	2	1.2%
	合計	171	



Q19 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	135	78.9%
2	どちらかと言えばそう思う	32	18.7%
3	どちらとも言えない	3	1.8%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	1	0.6%
	合計	171	



3. 2017 年度後期 「授業改善のための学生アンケート」 みなさんの声に応じて

学生の皆さんが回答してくれたアンケート結果は、個人が特定されないように集計された後、自由記述も含めて、担当教員へすべて確実に届いています。この章では、アンケートを通じて届けられたみなさんの声に応じて、授業毎に担当教員からのメッセージをお戻しします。

① 学部科目 授業担当教員からのメッセージ

キリスト教学ⅡB	海老原 晴香	2017/水2/後期
<p>■Q20. この授業について、良かった点、改善してほしい点などを自由に記述してください。</p> <p>①ミニテストをやるのであれば、(学年末) テストをやる必要はない →冒頭のミニテストは各回の事前自宅学習と導入のため、学期末テストは半期を通じて学んだこと、考えたことを整理・確認するために実施しています。充実した学びのため、内容を吟味しつつ今後も実施していく予定です。</p> <p>②聖書をもっと使用したい。 →クラスの状況を見ながら、内容に深くふれられる機会となるよう努めます。</p> <p>③テストはワークシート(レジユメ)持ち込み可にしてほしい。 →事前学習、テスト準備に向けて、授業内でもポイント解説する日を設けています。負担になりすぎず、しかし一方でしっかりと学びを達成できるよう配慮しています。テストでは暗記したことではなく、考察の深度をチェックしますので、レジユメは自宅学習の際に活用して下さい。質問はいつでも受け付けています。</p>		

ボランティア・キャリア体験Ⅱ	川中 信	2017/月5,6木1,2/後期
<p>ボランティア・キャリア体験は共通科目です。2017 年度の体験先は小学校と児童福祉施設あわせて 2 か所、それぞれ月曜日夕方か木曜日午前の学外授業でした。どちらもそれぞれ同じ方から自由記述で回答いただきました。その回答を前期後期ともにここに掲載しましたが、前期アンケート自由記述よりも後期の記述に学びの深まりが感じられます。ありがとうございました。「コメント→」は大学教員のコメントです。</p> <p>■設問 全般に大変に高い評価をいただきました。</p> <p>■自由記述 Q20.この授業について良かった点、改善して欲しい点、について自由記述をいただきました。ありがとうございます。</p>		

・(福祉施設) ボランティアを通して子どもたちの少しずつの成長が見られたことがとても良かったです。ただ、一度受講した授業を受けなくなった人々に対し、もっと適切な対応があったのではないかと思います。なぜ、2人が辞めてしまったのか、メールの裏に隠された彼女たちの心情を理解せずにいたことが2人を引き留められなかった原因なのではないかと思います。

コメント→ ご指摘ありがとうございます。人間として学生の心情理解ができていなかったと恥ずかしく反省しております。過去に受講態度を問題にして学生をやめさせた別の施設長からは、教員の力不足ではないかと指摘されましたことがあります。その時の状況とは全く異なるかもしれませんが、自己改善できていないのではないかと自分自身について考えさせられました。受け入れ先の小学校や福祉施設から特定学生の学習姿勢に問題があり子どもへの悪影響があると指摘され、事実上の出入り禁止になった事もあります。言うまでもなく大学にとって学生第一ではありますが、実社会である受け入れ先と子どもの安心を守り、履修上のルール以前に先方の指示などの社会的規範を守ることは、教員と学生の間だけの問題ではなく社会の一員として大学教員の責務であろうと思います。しかしながら結果的に学生の心情理解ができなかった、それに賛同しなくとも共感的な態度で接することができなかった点が根本にあるとの指摘だと重く受け止めました。一方、施設で働く職員とボランティアしてくださった学生の協力で、そして子どもたち同士の育てあいが、子どもたちの成長に繋がった実感が私もあります。

・(小学校) 1日だけ、1週間だけ、など短い期間ではなく、希望によっては1日中体験させていただけるので、自然体の生徒と触れ合えたように思います。また、毎週先生がいらっしゃるので、行き詰まったときに相談し易かったです。

コメント→ 授業時間にこだわらずアルバイト時間を調整して、まさにボランティアに、2学年4学級ほか子どもたちと様々な先生たちそして校長先生の場面ごとの期待に応じてくださいました。人として得た信用信頼と対人関係力、そして将来一緒に働きたいとまで言われる指導力が素晴らしかったです。見ていて誇らしく眩しかったです。大変お疲れ様でした。難しい学級でも大学教員や他の先生たちに、率直に相談するコミュニケーション力と、主体的に問題発見し課題解決する力をつけられました。子どもたちに力を貸して下さって、ありがとうございました。

Q21.この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、について。

・(福祉施設に行った、上と同じ方から自由記述をいただきました) 子どもたちは自分の考えている以上に大人を見ていること。親が不安になれば子にも影響が出る。逆に親と子の信頼関係があり、環境が整っていると閉じこもっていた殻を破るように新たな子ど

もの一面が見られる。一つの言葉や行動で子どもたちの性格などが変わったりする。私はボランティア体験をあまりやったことがありませんでした。途中で仲間が徐々に少なくなり、正直とても辛かったです。3人・2人で行なうことと、1人で行なうことの大変さ、重みは比べられないぐらいに大きかったです。その辛さをふき飛ばしてくれる子どもたちの元気さ、職員の方の気遣い、そしてなによりも先生が側についてくださったので楽しくボランティアをすることができました。ありがとうございました。

コメント→ ご理解ありがとうございます。子どもたちに力を貸して下さって本当にありがとうございました。

- ・(小学校に行った同じ方から自由記述をいただきました) 十人十色の児童がおり、決して「可愛い」だけではありません。どうしてもしからなくてはならない場面も必ず出てきます。しんどいと思うこと、「私でいいのか」と悩むこともたくさんありました。でも、それだけやりがいがありました。現場でしか知り得ない喜びや苦しみを体験できたように思います。

コメント→ ご理解ありがとうございます。次世代を担う子どもたちをしっかりと育てて下さったと感謝申し上げます。人間関係ですから難しさはあります。そして悩みのない子育ては無いと申し上げてよいのでしょうか。その上で一年を振り返って「喜びと苦しみを体験できた」と書かれた総括に、本当に頭が下がります。もう一年続けてくださるということで、大部分が同じ担任、校長ほかの先生方、そして子どもたちの期待はどれほど大きいか、教員がわずかに早く小学校に着いただけで、小学校の皆さんから「えっ、Sさんどうしたの?」と聞かれ続けたことから実感しました。私からも子どもたちのために二年目も続けてくださることに感謝します。また教室で一緒に試行錯誤していく時間が楽しみです。

海外ボランティア実践演習B

川中 信

2017/火3/後期

海外ボランティア実践演習は、共通科目(2017年度から海外旅行なしの学内のみ)です。

■設問

Q1-Q19の設問に4割の学生が無回答、5割10人が5段階で回答しました。ありがとうございます。

■自由記述

Q20.この授業について、良かった点、改善してほしい点について、学生22人から21件の自由記述をたくさんいただきました。また前期の同様科目のアンケートに比べて、アンケートも授業効果も精度が向上していることがわかりますので、比較していただければ幸いです。ありがとうございます。

以下3つの質問を提示しました。

1. フィリピンの海外ボランティアをスライドで 3-4 回見ましたが、印象に残っていますか。例えば提携先の医科大学、先住民との関わりなどです。
2. パッケージツアーに代金を支払い参加するだけのボランティアツアーとは異なり、現地受入機関とのやりとりに欠かせない、ワードやエクセルの使い方もワンランク上の習得を図りました。例えば宗教・民族・言語・地理の情報や外務省の安全情報など、大量データをテキストに変換しコピーし、見出し機能を使っての整理、海外ボラ要素(活動の選択オプション)をアウトライン機能や並べ替え機能を使って日程表づくりを行いました。またエクセルを使って活動単価(車両と運転手借り上げ、現地 NPO 添乗ガイドの謝金と人件費、航空券代金、ホテル宿泊費)から予算計画を立てる演習も行いました。こうした目的で紹介したワードやエクセルの習得に問題がありましたか。
3. 英文レターの提出、現地や安全の情報、安全対策ディスカッション、ボランティア活動例の、日程表作成など、7 つの提出物について、全て授業時間内で完成させ提出するようにしましたが、提出物は多すぎましたか。

- ・ 1.スライドがとても分かりやすく、とても良かった。2.まったく分からなかったが、先生が分かりやすくおしえて下さってとても良かった。3.英文がよく分からなかったから、もっと短くして欲しかった。
- ・ 1.記憶なし。2.難しい。3.多かった。
- ・ 1.多分欠席しました。2.ワードの使い方、とても参考になりました。3.英文レターの作り方が良かった。
- ・ 1.忘れました。2.ワードの使い方役に立った。3.提出物は少し多いと感じた。
- ・ もっと色々な国を調べたい。ワードを勉強する機会があつて良かった。

コメント→ 色々な国を調べてもらう授業も試して見ましたが、パッケージのボランティアツアー以上の情報を得ることが難しかったです。現地にメールを書いても返事がなかったり、授業で要求する詳細まではもらえなかったりで、教員が用意した事例を使わざるを得なくなりました。フィリピンだけでも 21 のオプションを用意してありますが、情報が多く複雑な個別指導になり人数が多いとさらに不可能になりました。フィリピンのダバオ・デル・ノルテ州だけでも選択肢が多く、自由に取捨選択して計画を組み立てるだけでも大変だったのではないのでしょうか。

- ・ E x e l の使い方をよく分からない状態で表を作っていた所があった為、もう少し事前説明が欲しかったです。

コメント→ 新しい作業をしていただく前には、現地の様子とワードとエクセルの作業手順についてスクリーンを使って事前説明したうえで、パソコンでの作業にお取り組みいただきましたが、もう少しパソコンを前にひ

とつひとつ手取り足取り作業手順ごとにやったほうがよかったかもしれませぬ。

- 1.スライドがまとまっていたのでわかりやすかった。2.少しわかりずらかった。コピペが多かったので自分で考えてやるのが少なかったように思う。3.英文の手紙はとてもタメになった。日程表の作成は苦勞したが、実際に使えそうな日程の組み方を教えてもらって良かった。
- 楽しかった。ワードの使い方が分かってためになった。本当に親切に教えていただいてありがたかった。
- 1.現地の様子はイメージがつかみやすくてみてよかった。2.コピペばかりでちょっとナゾだったけど、アリ。3.こんなかんじなんだって、イメージつかめた。提出物ももっとくわしく教えてほしかった。教室寒すぎませんか??・海外ボランティアというよりワードの授業。英文レター超絶参こうになった。
- 現地の様子は写真などがみれて想像しやすかった。しかし、外務省ページに書いてあることがあまり想像しづらかった。ワードでは使い方をしらなかったののためになったが、はじめからコピペではなく自分で要点をまとめたいなと思いました。また教室がずっとコンピュータの方がやりやすいのではないかなと思いました。授業自体は楽しかったです。
- 1.スライドはとても分かりやすかった。補足資料があればもっと理解が深まったと考える。2.とても役立った。3.自由というのはある程度の規律の上に成り立っている為に良かったと思う。
- 1.現地の様子は写真で見ることができ良かった。2.知らないことが多く、今回で学ぶことがたくさんあり、知れて良かった。3.量が多かった。紙とデータの2つ提出するのが大変。
- 1.最初の方であまり覚えていないが、現地の学校の様子は印象深い。2.w o r dについてはしっかり教えてもらったのでとてもよかった。3.説明が少し足りていなく、わからないことがあった。提出時に添削があるのはよかった。
- 1.先住民のイベントのスライドはおぼえていますが、それ以外は、ああそんなこともあったなという感じです。2.ワードすごくありがたいです！すごく役立ちました！3.コピペして切りとったりつけたしするだけなのが多くて、ちょっとムダかなと思ってしまいました。自由とかはよく分からなかったです…でも先生思った以上に熱心で聞いたり教えたりしてくれたので、すごい印象良い先生です！ありがとうございました！！
- スライドがみづらい、板書をとっている途中で次のスライドにすぐ変わってしまう。ワード・エクセルの使い方を見直せたのはよかった。安全情報のコピペの印刷はココじゃない現地の状況がまったく伝わってこない。授業の主旨がいまいち分からない。

コメント→ 海外旅行そのものは単位にしないので、自由に旅に出ること、遺跡見学や自撮りすることではなくガイドさん以外のその地域の人たちに関わること、国も文化も超えられるようなスキルを身に付けることが授業の主旨です。そのためには手紙も実際の交流も必要ですが、短期間といっても2週間以上の内容を計画できるようになったらよいという主旨です。社会人になってから学生時代にもっと自由を活用すればよかったと後悔しないようにしようではありませんか。何よりも卒にハマられ欧米留学や旅行をお金で買うだけの「欧米輸入型で受け身の国際性」では、日本国民は厳しい近隣諸国との競争で生き残っていきません。その時は親世代の豊かさを食いつぶし少子化だけではない結婚の厳しさも増し、自由な発想でハングリーに生きて行かねばならない。現地の状況なんて最終的には自分で調べて、実際に行かなければわかりません。わからないと感じたらネットにある与えられた情報に頼りすぎず、自由に海外を訪ねてみませんか。いずれにせよ、ご自分の課題発見と課題解決という主体的な学習のアクティブラーニングの発展が必要不可欠ですが、その前に気の遠くなるような国際競争での地位低下を経験するかもしれません。日本に閉じこもらず海外に飛び出して見てください。

- ・最初の授業の内容があまり覚えていませんが、ボランティアをしに行く際、どのようなものが必要になるか分かり勉強になりました。ムダだと感じたのは最初に予定を立てる時間です。フィリピンについて沢山知ることが出来て良かったです。
- ・スライドで説明された内容を資料として紙媒体で欲しかったです。現地の状況とかボランティアする上で何が大事かがよく分かりました。
- ・1.写真で分かりやすかった、もっと写真が見たい。2.もっとくわしく教えてもらいたかった。(実用性が高かったから) 3.時間が足りない。旅に出よう！現地に行こう！

コメント→ 現地の様子については、もっと時間が欲しかったのは教員としても同感です。ただ誰もフィリピンに行かない状況で、特定の国やローカルについての詳細はどこまで必要なのか疑問でした。そこで実用性が高いソフトウェアを使って、海外ボランティアに必要な最低限の情報処理を重点にするようにしました。また授業外で本当に海外に行く方がいると、さらに詳細は必要です。例えば、親の理解を得る方法、到着する飛行場での動きや送迎について、村での生活方法や飲食の詳細、体力とメンタルの管理、現地での対人関係の作り方や傾聴方法、ボランティアや活動の詳細などです。

- ・現地の写真はあまり覚えていません。スライドもう少しゆっくりにしてほしいです。英語のメール、ワードの使い方とても参考になりました。

- ・ 1.現地の様子→動画とかのほうが良かった。もっと多くやっても良かった。 2.ワードの使い方→表の仕方は覚えた。わかりやすかった。 3.提出物→コピペのものはムダ、先生が c h e c k したいならもっと提出物を少なくすべき。アタフタしすぎの授業だった。
- ・ 1.動画が印象に残っている。スライドはたくさんあったのでそんなに記憶には残っていない。 2.今までに教わったことのない方法もたくさん勉強できた。 3.安全情報・計画書の違いを理解できていなかった。

コメント→ 安全情報は社会情勢から感染症情報まで多岐に渡りますが、安全対策計画は学生が心がけるリスク回避、例えば狂犬病注射を打って安心するよりも小動物に噛まれないように近づかないなどの具体的行動を約束することです。

- ・ 指示がわかりずらかった。何をどのようにいつまでに提出するのか説明が不足していたと思う。

コメント→ 学期最初からスクリーンで3回、シラバスでもご案内しました。提出物は全て毎回の時間内に完成してもらい、不足を補い全てをまとめるため最後に予備日も設けました。まだ説明が不足していたのかなと思います。

国語学演習（近代語）

木村 一

2017/月2/通年

受講生の自主性を尊重しながら、多くの学生の意識を高めるように進めた。紙媒体を中心として進めてきたため。今後は板書のみならず、PPTの活用なども視野に入れたい。また、個々の学生の状況、関心やテーマに合わせて、多くの予習を行うように進めていきたい。

国語学講義（古典語）

佐々木 文彦

2017/水1/通年

日本語の歴史的変化について、情報教室を利用して用例を検索・分析し、考察するという授業であり、講義科目ではあるが学生個々が目的意識をもって調べて考えることを前提としており、アクティブな参加が要求される科目である。

Q6「教員の話は聞き取りやすかったですか」に対する回答が科目群平均をわずかに上回っていたほかは、科目群平均を下回っており、授業運営に改善の余地があることを痛感している。

自由記述で「課題について後出しで説明をされることがあり、困惑した」「その時その時で何をすれば良いのか説明がわかりづらいように感じました」というものがあり、授業内での問題提示のしかたや手順の説明に不十分な面があったことが反省点である。

来年度の改善すべき課題として、検索マニュアルをより分かりやすくリニューアルす

ることと、全体の流れをもう少し早めに提示して、課題に対して学生自身が能動的に取り組めるように配慮する所存である。

Q21で「言葉の移り変わりは、いつの時代もあるというのがおもしろかったです。」「言葉の変化について学ぶことがよかった」という回答があり、言語変化に興味をもってもらうことができうれしく思う。

言葉の変化をコンピューターを使って分析するという作業は大変だったと思うが、目のつけどころのよいすぐれたレポートを仕上げた学生もあった。今回の経験を生かしてさらに深い研究、学修を積み重ねていただきたい。

国語学概論	佐々木 文彦	2017/水2/通年
<p>国語学のほぼすべての分野について広く考える科目である。日本語をさまざまな角度から見ることができる反面、深く考えることが難しいので興味を持続するのが難しい授業でもある。</p> <p>客観評価ではほぼすべての項目で科目群平均を上回っており、授業運営はおおむね良好であると判断する。</p> <p>自由記述では「分かりやすく、面白かった」「先生がやさしくて分かりやすい」「先生がとても親しみやすかったので、楽しんで授業を受けることができました」などの感想が寄せられた。講師に親んでもらうことが目的ではないが、日本語に興味を持ち、日本語を楽しんでもらうことが少しでもできたのであれば幸いである。</p> <p>授業の板書をワードで行い、Campussquare にアップし、欠席した学生も授業の情報を得られるように配慮しているが、「毎回ノートをはってほしい。復習がしたい」という回答もあった。必ずしも毎週アップが出来ておらず、これは来年度の反省点である。</p> <p>日本語について、母語話者なのに案外知らないことがある。それに気づいて日本語に興味を持つというのがこの授業のねらいである。日本語に新鮮な興味を持ち、問題を発見し、自分で解決することができるように、もっともっと楽しい授業を展開したいと考えている。</p>		

近代文学講義	宮本 啓子	2017/木3/通年
<p>■Q1 出欠について</p> <p>他の講義科目に比べて、本授業の学生の欠席回数が多いという結果がでました。欠席に関してはそれぞれの事情があると思いますが、みなさんに出席したいと思っていただけのような知的刺激に満ちた授業を目指し出席率をあげたいと思います。</p> <p>■Q2 授業外の学習時間について</p>		

本授業にたいする学習時間は他の講義科目に比べて少ないという結果がでました。レジュメや戯曲のコピーを事前に配布し、参考図書などを授業で紹介して、予習、復習をもっと積極的に促していくべきでした。

■Q13 授業への興味について

最も高い平均値だったのが、「この授業の内容に興味を持つことができましたか」への回答でした。受講した学生が戯曲や演劇に関心をもってくれた点は教師としてとても嬉しいです。

■Q15 授業の難易度について

九割以上が「通常の努力で理解できた」との回答でした。「理解できた」ことは良いことですが、授業内容が易しすぎたのではないかと、それが Q1 の出席率の低さや Q2 の学習時間不足を招いた原因にもなったのではないかと気になっています。理解する喜びを感じとれる授業をこれからも模索していきたいと思います。

■Q20 授業について良かった点、改善してほしい点について

設問にたいして、多くが授業を「楽しい」と記してくれました。「楽しい」を、戯曲研究、演劇研究への意欲へとつなげていくことが課題です。また戯曲を音読する機会を増やしてほしいとの要望がありましたが、2018 年度は増やす予定です。

履修した学生の多くは、授業に集中し、レポート執筆にも真摯に取り組んでくれました。その結果、レポートは、テーマが明確で論理的な整合性を備えたものが多かったように思います。今後も、戯曲を読み、機会があれば観劇して、演劇への理解を深めてください。

アンケートは授業を客観的に見直す良い機会になりました。皆さんの声は 2018 年度の授業に活かしていきます。ありがとうございました。

ライティングⅡ

横田 由理

2017/月 2/後期

■Q19. 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。

前期と比べて満足度がかなりダウンしてしまった。同じ教科書の後半部分だったが、前期と構成が違って書く量が大幅に多かったために個人差も出やすく、自由記述欄に「書く量が多くて大変だった」とあるように、ついて行くのが大変だった学生も少なくなかったと思う。しかし、進度について「遅すぎる」、「どちらかと言えば遅い」という学生が一人ずついて、そのうちの一人は満足度の欄で「どちらかと言えばそう思わない」と回答したのではないかと推測されるため、個人差に対する考慮と対策が必要だと痛感した。

■Q6 (話の聞き取りやすさ)、Q7 (説明の仕方)、Q8 (教材の適切性)、Q11 (説明や指示が教室全体に正確にいきわたっていたか)、Q12 (授業目的・到達度の理解)、Q13 (授

業内容の興味) について

これらの解答も前期よりやや悪くなっていて、内容が難しくなったのに対し、十分に
対応できていなかったと反省した。

■ 自由記述について

しかし、自由記述の欄には「前期よりライティングの能力が上がったと思う」、「この
授業を通して自分の文章を書く能力が伸びたと思う」、「同じ表現を色々な言い回しで
考えられるようになった」と書いてくれた学生がいたし、全体としては満足度が「科
目群別平均」などを上回っていたため、少しは安心するところがあった。

ライティングⅡ

横田 由理

2017/月3/後期

■ Q19 (総合評価)、Q14 (進度)、Q15 (難易度)、Q10 (質問等への対応) について

前期と比べて満足度が少し良くなっていて、「科目群別平均」よりよくなった。Q13の
授業内容に興味を持ってくれる人が増えたことと連動しているようだったと思ったが、進
度が「どちらかと言えば遅い」と解答した人1人、「遅すぎる」と解答した人1人、難
易度が「ほとんど努力せずに理解できた」と解答した人2人で、進度が「どちらか
と言えば速い」が2人、「理解するのに多大な努力をした」と解答した人が1人いて、
満足度について「どちらかと言えばそう思わない」と解答した人1人はその中の一人
だろうと推測した。クラス内での個人差にもっと考慮、対処すべきだったと反省した。

■ Q11. 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。

学生の質問などに対する対応の評価が前期より悪くなっていたのは、後期、欠席が増
えた学生に対して十分な指示、説明ができていなかったせいだと心当たりがあった。
課題をこなすのにスピードがかなり違うだけでなく、十分な説明をするときに欠席す
ると、個人個人に対してはどうしても指示が簡単になりがちなので、その対策が必要
だと思った。

■ 自由記述について

進度、学生対応についてのコメントは上記と重なるので省略するが、「ライティングの
授業を通して、英語を書くことが楽しくなった」とか「自分の文法の理解の足りてい
なかった点がよく分かってよかった」などのコメントはこの授業が少しは役に立った
ということかと嬉しく思った。

総合英語Ⅱ

横田 由理

2017/金2/後期

■ Q19 (総合評価)、Q6 (話の聞き取りやすさ)、Q7 (説明の仕方)、Q10 (質問等への対
応) について

満足度が「科目群別平均」よりは良かったものの、前期と比べて少し下がっていたの
が気になった。Q6、Q7、Q10の各項目が前期より少しずつ下がっていて、分かりや

すい授業にする努力が足りなかったと反省させられた。

■自由記述について

「楽しかった」「面白かった」というコメントがいくつかあって、難しい分りにくい教材であったにもかかわらず、どうにか楽しく授業に臨んでくれた学生がいてくれたようで良かったと思った。

文学批評講義	横田 由理	2017/金 3/後期
--------	-------	-------------

■Q19 (総合評価)、Q14 (進度)、自由記述について

満足度が「強くそう思う」53.8%「どちらかと言えばそう思う」23.1%で、8割近い学生がプラス評価をしてきていて良かったと思った。しかし、「全くそう思わない」と回答した人も1人いて、これは進度が「どちらかと言えば遅い」と解答した人、同じ人か別の人ははっきりしないが、二番目の指摘は全くその通りだったので、こうしたコメントが書かれないよう、気をつけなければならないと思った。

■自由記述について

「詳しい説明もあり、とても分かりやすかった」というコメントには、継承していかなければならないこともあると感じた。

World Englishes	三宅 ひろ子	2017/木 3/後期
-----------------	--------	-------------

■Q15 授業の難易度について

理解をするのに努力を要した学生が数名いました。原因は明確ではないものの、英語の引用を多く扱ったことや、専門用語が多かったことは一要因かもしれません。これらを扱う時にはより説明を丁寧に行いたいと思います。

■Q3「主体的に取り組むことができたか」とQ20「自由コメント」について

Q3 で授業に主体的に取り組むことができた学生が多い一方で、改善してほしい点では「受身の授業なので、もっとグループワークなどを取り入れた方が良い」というコメントもありました。昨年度よりも指名の回数は増やしたものの、まだ改善の余地はあったと感じましたので、大いに参考にさせていただきます。

コミュニケーション概論Ⅱ	三宅 ひろ子	2017/木 4/後期
--------------	--------	-------------

■Q2 授業以外の学習時間について

輪読やアクティビティを取り入れ、授業中は活発な姿勢が見られましたが、授業だけで完結するものが多かったため、授業外での学習時間は少なかったようです。次年度はプレゼンテーションを取り入れますので、必然的に準備時間や学習時間が増えるかと思っています。

■Q19 満足度 と Q20 自由コメントについて

授業中の皆さんの反応はそれほど大きなものではありませんでした。しかし、満足度が高かったこと、また「社会人になる前に受けることができ本当に良かった」「一番ためになる授業でした」といった肯定的なコメントがあり、「コミュニケーション」というテーマが内面的で自己と向き合う機会となるため、授業中に個々が反応しにくかったのかもしれないと感じました。

児童文学入門A	白井 澄子	2017/月2/後期
<p>スクリーンが見にくいという意見について 確かにスクリーン（プロジェクター）の不具合が何度もあり、学生には気の毒でした。機会が古いのかもしれませんが。なおしていただいても、しばらくすると、またダメになります。ただし、本は実物を持参しているので、授業後に手に取ってみることも可能なのですが。</p>		

基礎演習B	杉村 裕子	2017/火4/後期
<p>■Q18 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか、という設問に対して「どちらかと言えばそう思わない」と回答された方へ</p> <p>身近で手に入る範囲を超えて、自ら学びたいと思って下さったことをまず嬉しく思います。そのうえで、今後は学生の研究テーマに応じて、積極的に図書館へリクエストを行っていきたいと思います。ご意見ありがとうございました。</p>		

生徒指導・進路指導 生徒指導研究（小）	曾我部 和広 (曾我部和広、神永典郎、占部慎一)	2017/木1/後期
<p>■Q20 授業について良かった点、改善してほしい点について</p> <p>「テストではなくレポートと書かれていたが、テストとなっている」 → シラバスの評価方法には「まとめとしての試験」と明記してあります。</p> <p>「公欠中の全ての授業のレポートを提出しなければならないのはおかしいと思う」 → 公欠であっても休んだ授業内容はきちんと自学自習する必要があります。シラバスに書かれている内容を全て習得して初めて単位認定になります。</p> <p>「無駄話ばかりで授業が全く進まずに困りました」 → 授業内容に全く無関係な話はしていません。具体例を話したことが無駄話に聞こえたのでしょうか。教師になった時に役立つようにと考え、できるだけ具体例をおりませながら話しています。無駄話として受け取られたのは残念です。</p>		

② FD 推進委員会からのメッセージ

「授業改善のための学生アンケート」をはじめ、よりよい学びについて考える様々な機会を提供していく役割を担っているのがFD 推進委員会です。FD 推進委員会からは、アンケートそのものの適切性についての設問（Q23）で寄せられた学生のみなさんの声に応えます。また、アンケート結果からみられる全学的な傾向を踏まえて、みなさんへよりよい学びのためのメッセージをとどけます。

「Q23① この授業を評価するにあたって、このアンケートの質問項目は十分かつ適切だと思いますか。」に対する回答は、以下のとおりでした。

「はい」	13,331 件	81%
「いいえ」	312 件	2%
「無回答」	3,449 件	17%

「Q23②（Q23①で「いいえ」と答えた人のみ）欠けている項目、不適切な項目などを、具体的に記述しなさい。」に対して、次のようなコメントが寄せられました。

アンケートについてのコメント 1

設問によっては五択（選択肢）で言えないこともあると思います。（1 件）

設問によっては、回答にふさわしい選択肢が見あたらない場合もあると思います。そのような場合には、「Q20. この授業について、良かった点、改善してほしい点などを、自由に記述してください」という設問の自由記述欄へ意見を記入してください。

アンケートについてのコメント 2

1 つの授業を複数の先生で担当されているので、正確に回答できません。（4 件）

1 つの授業を複数の先生が順番に担当されたり、いくつかのグループに分かれて別々の先生が担当されるような場合、授業のどの部分について回答すればよいのかわからないことがあると思います。そのような場合には、アンケート実施時に担当されている先生へ回答の範囲（授業全般／特定の先生のご担当部分等）をおたずねください。

アンケートが教員にとっても学生のみなさんにとってもその先のよりよい学びにつながるツールとなるよう、またそのことが実感できるよう、FD 推進委員会ではこれからも実りあるアンケートの在り方について検討してまいります。

4. 2017 年度後期 「授業改善のための学生アンケート」 顕彰授業

2010 年度より全学で実施してまいりました「授業改善のための学生アンケート」に、2017 年度より集計結果を活用した顕彰制度が導入されることになりました。アンケートの結果は、これまでも個々の授業改善に役立てられてきましたが、今後は高評価を得た授業を公表し、その授業の優れている点を大学全体で共有してまいります。

授業のあり方は授業の数だけありますが、顕彰された授業における工夫を知ることにより、よりよい学びのためのヒントが得られる機会になればと願っています。

2017 年度後期 顕彰授業

→ [こちらをご覧ください](#)

2017 年度後期 顕彰授業における工夫

→ [こちらをご覧ください](#)